



西小だより

山形市立西小学校

令和7年12月23日

校長 小林 聡

令和7年（巳年）も残すところあとわずかとなりました。家族や仲間とゆっくり一年を振り返り、良い年をお迎えください。今年一年のご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

人は 人とのつながりの中で学んでいく

学校は子どもが集い、暮らしをともにする中でいろいろなことを学び、育っていくところです。それは通学班での登校に始まり、朝活動や準備、朝の会に全校朝会等、1校時に入る前から学びと体験が積み重ねられ、そのどれもが人として成長していくために大切なものです。最近は「だいじょうぶ?」「ありがとう」…相手を思いやる声を耳にすることがぐんと増えました。

1年間の授業時間は、もちろん学年によって差はありますが、入学式や運動会の学校行事も含めておよそ1000時間。授業をする者は、その1000時間、子どもがいかに**主体的に、深く**学んでいけるかに心を砕いています。「**だれかが決めた課題**」を超えて、「**自分が抱いた疑問**」を解決したくて学んでいる時、それはそれは楽しい時間です。解決に向かうまでの大変ささえも楽しく感じたり、体の奥から意欲が湧いてきたり、…口で言うほど簡単なことではありませんが、私たちは子どもが夢中になって生き生きと学ぶ授業を日々目指しています。

そのような日常の中で改めて気づいたこと、それは「**人とのつながりの中で学びは深まっていく**」ということです。「**だれもが自分とは違う見方・考え方をもっている**」を大前提にして「**どうも自分一人では解決できそうもないなあ**」「**自分の中のモヤモヤがなかなか消えないなあ**」という時、「これはどういう意味だと思う?」「私はこう考えたけど、どう?私の考えわかる?」仲間とやりとりする中で考えが深まり、解決の糸口が見えてくるものです。

話を聞いたり本を読んだりしてその時は「なるほど!」と思ったけれど、他の人に聞かれたら何も言えなかった、書き出してみたらその曖昧さに愕然とした、…一度はそんな経験をしたことがあるのではないのでしょうか。**インプットしただけでは「わかったつもり」**になっていることが多く、**本当に「わかった!」**となるには、**話したり書いたりするアウトプットが必要だ**ということです。

2学期は、つながりの中で子どもたちが安心してアウトプットしながら学びを深め、学ぶ楽しさが加速していく場面をたくさん見ることができました。

また、職員は目指す授業の実現のために、お互いの授業を見合ってきました。「今日、いろんな先生が見に来たんだよ」と夕食時に話題になった家庭もあるかも知れません。授業を見て子どもの学ぶ様子から感じたことや気づいたことを話し合い、聴き合いながら自分の授業力を高めていく。アウトプットしながら改善していく営みは、大人も子どもも同じです。つくづく「**人は人とのつながりの中で学んでいくものだな。それが大事だな。**」と感じています。そして、職員も子どももそれができるいい関係であることが西小の一番いいところです。それが何よりうれしい2学期でした。



第3回 地域の方との交流会

4年生総合的な学習のテーマは『地域をよりよくしよう』。自分達で考えたグループ公園をきれいにしよう・地域の安全を守ろう・地域の交流を増やそうごとに学習を展開してきました。

「地域の交流を増やそう」グループは、1, 2回目の交流会で参加人数が少なかったことを課題にして3回目の準備を進め、地域の方が立ち寄りそうなコープやヨークベニマルにポスターやチラシで宣伝活動をしました。当日は12名の方が参加してくださいました。「私たちももちろん、地域の方同士でたくさんお話をしてほしい。」という思いで、集まった方々でグループをつくり、校内に貼ったクイズにも挑戦していただきました。「みなさんがとても親切でした」「元気で楽しめました」「初めて会った地域の人と班になって協力してクイズができてよかったです」等のうれしい声をたくさんいただきました。地域の方も終始笑顔で、大満足の交流会となりました。



秋のスペシャルランドへようこそ

「いらっしゃいませー！」体育館のあちらこちらから大きな声聞こえてきます。

1年生の秋の学習は、秋を探しに行った自然の家での活動に始まり、近くの公園から拾い集めてきた木の実や松ぼっくりを使って様々なおもちゃやアクセサリを作ってきました。時には一人で、時には友だちと話し合いながら、より楽しいもの、よりきれいなものになるようルールや形、動き等を試行錯誤しながら夢中で取り組んでいました。2日間にわたり、各学年を招待して秋のスペシャルランドを開きました。各ブースはどれも大盛況で、上級生も大いに楽しみました。

地域の方より「熊鈴」をいただきました

頻繁に熊の目撃情報が入り、日常生活にまで心配が出てきてから2か月余り。その間、学区内で目撃された時の対応を共有するなど、万全の態勢をとってきました。

そのような中、先日、地域にお住まいの方（ご本人の希望で名前は伏せています）より、「安心・安全な登下校と学校生活に役立ててほしい」とのことで、合わせて500個ほどの熊鈴をいただきました。やや落ち着いてきた熊騒動ですが、まだまだ油断はできません。大変ありがとうございました。大切に使用させていただきます。使用方法等を確認後、3学期に子どもたち一人一人に配布します。